

透ける沓でロッキング橋脚を補修

透明弾性樹脂で腐食因子を遮断

青森県青森市地蔵町は2017年3月から青森市の八甲田大橋で透ける沓をはじめとした橋梁補修工事を進めている。同橋は青森市東野一丁目の国道10号に架かり、青い森鉄道を跨ぐ橋長1.66キロの5径間単純合成鋼鉄橋。施工の元請は大坂組。下請は田中建設。

新技術紹介

同橋の橋梁補修工事として、北側のロッキング橋脚ボット支承周りの清掃と緩衝チェーン、鋼製線端3本を補修するもの、透ける沓全体を三種鋼材に落橋防止装置(緩衝沓は過去に鋼板で巻かれ、鋼処理の後、あらかじめ緩衝チェーン10)、PI補修しており、可動する補修タケン(厚さ10mmのアクリル樹脂)の透ける沓で完全密封することにより、支承明板をセッティングする。工場製作したアクリル樹脂透明板は微調整を加え、透明弾性樹脂を注入して設置し、透明弾性樹脂を硬化させ、透明弾性樹脂の硬化時間は、外気温が高ければ短く、外気温が低ければ長い。



透ける沓完成



透明弾性樹脂の注入



透明型枠の上蓋をセット



透ける沓施工前のピボット沓



見学する青森工業高等学校の生徒達

ピボット支承を防錆

防錆困難個所の採用増

同日、青森県立青森工業高等学校3年生3人が、現場を担当する大坂組に、現場を視察し、透ける沓の現状を把握した。同社の長岡裕一(現場代理人)による施工手順の説明後、透ける沓の構造や、厚さ10mmの透明弾性樹脂の硬化時間や樹脂の硬化温度を説明した。また、透ける沓の施工の様子を見学し、現場を視察した。同社の長岡裕一(現場代理人)による施工手順の説明後、透ける沓の構造や、厚さ10mmの透明弾性樹脂の硬化時間や樹脂の硬化温度を説明した。

透ける沓の施工は、高気圧の反応が早く、硬化時間が短く、硬化後の強度が鋼材に匹敵する。また、硬化後の樹脂は、鋼材の表面を保護し、腐食因子を遮断する。また、硬化後の樹脂は、鋼材の表面を保護し、腐食因子を遮断する。

BER シリーズ

腐食因子を **完全遮断**

透明弾性樹脂による 支承防食工法

透ける沓

sukerushuu

構造例

- 素地調整の簡素化
- 環境に左右されない施工性
- 目視確認が容易 (レンズ効果でより見易く)
- 支承機能を維持

橋梁LCC改革をリードする **橋端改良技術協会**

【事務局】 〒981-3117 仙台市泉区市名坂字野蔵 19-3
TEL&FAX: 022-371-9803
E-mail: info@mcbm.net http://www.mcbm.net

「橋端改良技術協会」会員

特佐々木組	特ゼットアールシー・ジャパン	田中建設	特東北リバイブ	特ヴィクトル
特シー・プリバント	特セットファクトリー	茶谷産業	特ナカセン	特田工建設
特特栄産業	特大知建設	特テクノ中央	特中川組	特丸本工業所
特通産建設	特日本塗料	特東京ファブリック工業	特ナラサキ産業	特ラドジャパン